



増淵 一基
(自民党)

**広域的サイクリング
ルート設定で
さらなる誘客を**

問 サイクルウェアを着た人が日光方面へ向かう姿や、自転車の駅で休憩する姿を多く見かけるようになった。本格的にサイクリングを楽しむ人は、一日の走行距離が長いことから、本市を起点とした自然景観や観光地などを楽しめる広域的な周遊ルートを設定することで、さらなる誘客につながるかと考える。

自転車のまち推進計画後期計画にも取り組みが位置付けられているが、進捗状況と、今後、広域的なサイクリングルートをどのように活用しようとしているのか聞く。

答 まずは、全国的、全国的に集客力が高い日光方面へのルートを検討している。現在は近隣自治体などと意見交換を行い、本市を拠点として一日かけ周遊できるように、石の里大谷をはじめ、観光地などをめぐる100キロメートル前後の複数ルートを検討しており、スマートフォンなどでも利用できる広域版自転車マップの今年度末の完成に向け取り組んでいる。

今後は、広域的なサイクリングルートの情報を市内外に広く発信し、観光振興や地域活性化とともに健康づくりや環境に優しいまちづくりのツールとして活用していく。

その他の質問項目

- ①城址公園での爆発事件②情報システムのクラウド利用
- ③空き家対策④働く人の心と体の健康づくり⑤子ども食堂
- ⑥ひとり親家庭への就労支援
- ⑦農コン事業⑧LRTトータルデザインの取り組み⑨英語教育の充実

『議会体験』の流れ (約1時間)

市議会による『議会体験』のご案内

象として、主権者教育などの視点を加えた議会体験を始めました。

市議会では、議会への理解と関心を高めてもらうため、親子や小中学校、各種団体の皆さんなどの議場見学を随時受け付けています。

当日は、参加者全員が議長や市長などの役になりきり、公園建設について議案の説明や、それに対する質問をした後、それぞれが賛成か反対かを考え、採決しました。

第1回の議会体験に城山東小学校が参加

29年1月10日に、城山東小学校6年生の皆さん37名がいらっしやいました。



参加者の感想

「議会と市のそれぞれの役割がわかった。」
 「議会の仕事は大変そうだが、大切な仕事だとわかった。」
 「話すのは緊張したが、貴重な体験となった。」
 「自分たちも意見を言っていくことが大切だと思った。」

申し込み・問い合わせ

議会体験は、シナリオを用意していますが、内容はご要望に応じます。高校生など、発言内容などを生徒に考えさせたい、といったご相談にも応じます。体験希望の1か月前までにお問い合わせください。

各種団体などの議場見学も、議会が開会していない時期は随時対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

議会事務局政策調査課
電話 632-2611